



Application No. 10/649,332
Paper Dated: January 16, 2004
Reply to USPTO Correspondence of November 19, 2003
Attorney Docket No. 0388-031645

Customer No. 28289

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Application No. : 10/649,332
Applicant : Kazuo SAMEJIMA et al.
Filed : August 26, 2003
Title : MID-MOUNT MOWER HAVING A MOWER UNIT
DISPOSED BETWEEN A FRONT WHEEL UNIT
AND A PAIR OF RIGHT AND LEFT REAR WHEELS
ARRANGED REARWARDLY OF A VEHICLE
BODY TO BE INDEPENDENTLY SHIFTABLE

Group Art Unit : 3671

MAIL STOP MISSING PARTS
Commissioner for Patents
P. O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. §119

Sir:

Attached hereto is a certified copy of Japanese Patent Application No. 2003-032271, which corresponds to the above-identified United States application and which was filed in the Japanese Patent Office on February 10, 2003.

The priority benefits provided by Section 119 of the Patent Act of 1952 are claimed for this application.

Respectfully submitted,

WEBB ZIESENHEIM LOGSDON
ORKIN & HANSON, P.C.

By

Russell D. Orkin
Registration No. 25,363
Attorney for Applicants
700 Koppers Building
436 Seventh Avenue
Pittsburgh, Pennsylvania 15219-1818
Telephone: 412-471-8815
Facsimile: 412-471-4094
E-mail: webblaw@webblaw.com

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to MAIL STOP MISSING PARTS, Commissioner for Patents, P. O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 on January 16, 2004.

Kara A. Berthold
(Name of Registered Representative)

Signature

01/16/04
Date

K7994US

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 2 月 1 0 日
Date of Application:

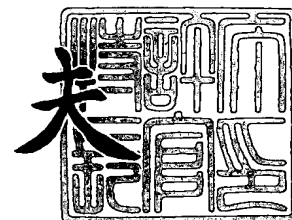
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 0 3 2 2 7 1
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 3 - 0 3 2 2 7 1]

出 願 人 株 式 会 社 ク ボ タ
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 6 7 8 3 0

【書類名】 特許願

【整理番号】 T103010800

【提出日】 平成15年 2月10日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A01D 34/64

【発明の名称】 乗用草刈機

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 鮫島 和夫

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 浅原 将人

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 島田 宏

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 箕浦 章

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 戸越 義和

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 藤原 修身

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府堺市石津北町 6 4 番地 株式会社クボタ 堺製造
所内

【氏名】 江崎 善幸

【特許出願人】

【識別番号】 000001052

【住所又は居所】 大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番 4 7 号

【氏名又は名称】 株式会社クボタ

【代理人】

【識別番号】 100107308

【住所又は居所】 大阪府大阪市北区豊崎 5 丁目 8 番 1 号

【弁理士】

【氏名又は名称】 北村 修一郎

【電話番号】 06-6374-1221

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 049700

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 乗用草刈機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 機体前部にキャスト型の前輪を配備するとともに、機体後部に独立して変速操作可能な左右一対の後輪を配備し、前記前輪と前記後輪と間に位置させてモアを昇降自在に吊り下げ装備した乗用草刈機であって、

機体フレームを、前記前輪を支持するとともに前記モアを前後のリンクを介して吊り下げ支持する左右幅広の前側フレーム部と、後輪駆動部を連結する左右幅狭の後側フレーム部とで構成し、

前記前側フレーム部を、大きい左右間隔をもって対向配備してなる左右一対のフレーム杆と、左右のフレーム杆をその前部および後部において連結する前部横フレームおよび後部横フレームとで構成し、

後側フレーム部の上方に配備した運転座席の前端部が、前記後部横フレームの上方に位置するよう配置するとともに、後部横フレームの左右中央付近に下方および後方に開口した凹入部を形成し、モアのデッキ上面に突設したギヤケースが、モアの上昇に伴って前記凹入部に下方から入り込むよう構成してあることを特徴とする乗用草刈機。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の乗用草刈機であって、

前記後部横フレームを前記フレーム杆よりも高く構成して、後部横フレームの上端部に前記運転座席を支持するとともに、前記凹入部の左右に、左右の前記フレーム杆の間に沈み込み配備されるステップの後端を受け止め支持する平板部を連設してある乗用草刈機。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の乗用草刈機であって、

前記後部横フレームの左右中央付近において前方に突出する膨出部を設け、この膨出部の内部に前記凹入部を形成してある乗用草刈機。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、機体前部にキャスト型の前輪を配備するとともに、機体後部に独立

して変速操作可能な左右一対の後輪を配備し、前記前輪と前記後輪と間に位置させてモアを昇降自在に吊り下げ装備した乗用草刈機に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、上記構成の乗用草刈機としては、機体フレームを、前記前輪を支持するとともにモアをリンクを介して吊り下げ支持する前側フレーム部と、後輪駆動部を連結する後側フレーム部とで構成し、前側フレーム部を、前向きのコの字状に形成したフレーム杆の左右前端部を横フレームで連結して構成するとともに、後側フレーム部を、前側フレーム部より狭い左右間隔をもってコの字状フレーム杆の後部横フレーム部分に連結された縦平板からなる左右一対のフレーム板で構成し、このフレーム板に後輪駆動部を連結したものがあ（特許文献 1 参照）。

【0 0 0 3】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 0 - 3 5 1 3 3 0 号公報

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

乗用草刈機においては、非作業走行時にはモアを上昇させることになるが、起伏の多い箇所を走行する場合や、縁石を乗り越えて移動するような場合に、モアが地面に接触しないように大きく上昇しておくことが望まれる。この場合、モアのデッキ上には機体後部の P T O 軸から伝達された前後向きの回転動力を縦軸回転に変換してモアデッキ内の回転ブレードに伝達するためのギヤケースが突設されており、このギヤケースやギヤケースに接続された軸伝動系と機体との干渉によってモアの上昇限度が決まることになる。

【0 0 0 5】

ここで、従来の乗用草刈機では、モアを吊り下げ支持する機体フレームの前側フレーム部に運転ステップを配備する構造となっているので、モアの上昇限度を高くするために機体フレームを高く構成すると、機体の重心が高くなって機体の安定性が低下することになり、逆に、機体の安定性を重視して機体フレームを低く構成すると、上昇させたモアの地上高が小さくなるものであり、機体の

安定性とモータの地上高の一方重視すると他方が不十分になるものとなっていた。

【0 0 0 6】

本発明は、このような点に着目してなされたものであって、機体の重心を低くすることができるものでありながら、上昇させたモータの地上高を十分確保することのできる安定性および走行性に優れた乗用型草刈機を提供することを目的とするものである。

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に係る発明は、機体前部にキャスト型の前輪を配備するとともに、機体後部に独立して変速操作可能な左右一対の後輪を配備し、前記前輪と前記後輪と間に位置させてモータを昇降自在に吊り下げ装備した乗用草刈機であって、

機体フレームを、前記前輪を支持するとともに前記モータを前後のリンクを介して吊り下げ支持する左右幅広の前側フレーム部と、後輪駆動部を連結する左右幅狭の後側フレーム部とで構成し、

前記前側フレーム部を、大きい左右間隔をもって対向配備してなる左右一対のフレーム杆と、左右のフレーム杆をその前部および後部において連結する前部横フレームおよび後部横フレームとで構成し、

後側フレーム部の上方に配備した運転座席の前端部が、前記後部横フレームの上方に位置するように配置するとともに、後部横フレームの左右中央付近に下方および後方に開口した凹入部を形成し、モータのデッキ上面に突設したギヤケースが、モータの上昇に伴って前記凹入部に下方から入り込むよう構成してあることを特徴とする。

【0 0 0 8】

上記構成によると、モータが上昇操作されると、モータのデッキ上面に突設したギヤケースやこれに接続された軸伝動系が、モータの上昇に伴って後部横フレームの左右中央付近に形成された凹入部に下方から入り込むことになる。つまり、機体フレームを低く配備しても、ギヤケースが前側フレーム部の後部横フレームの内部にまで下方から入り込むことで、上昇したモータも地上高が大きいもの

となる。

【0009】

従って、請求項1の発明によると、機体の重心を低くすることができるものでありながら、上昇させたモータの地上高を十分確保することのできる安定性および走行性に優れた乗用型草刈機を提供することができる。

【0010】

請求項2に係る発明の乗用草刈機は、請求項1の発明において、前記後部横フレームを前記フレーム杆よりも高く構成して、後部横フレームの上端部に前記運転座席を支持するとともに、前記凹入部の左右に、左右の前記フレーム杆の間に沈み込み配備されるステップの後端を受け止め支持する平板部を連設してあるものである。

【0011】

上記構成によると、前側フレーム部を構成する左右のフレーム杆の間に沈み込み配備したステップの後部を強固に支持することができ、ステップを低く配備することで後部横フレームの上端部に支持した運転座席の地上高を低くできる。

【0012】

従って、請求項2発明によると、低いステップを配備することで、搭乗運転時における機体安定性を更に高めることができ、請求項1に係る発明の上記効果を助長する。

【0013】

請求項3に係る発明の乗用草刈機は、請求項2の発明において、前記後部横フレームの左右中央付近において前方に突出する膨出部を設け、この膨出部の内部に前記凹入部を形成してあるものである。

【0014】

上記構成によると、機体フレームにおける前側フレーム部と後側フレームとの連結部、つまり、後部横フレーム部位には大きい荷重負荷のかかることになるが、後部横フレームは断面形状が複雑なものとなっているので、大きい荷重負荷に対しても十分な強度を発揮する。

【0015】

従って、請求項 3 発明によると、請求項 2 に係る発明の上記効果をもたらすとともに、機体フレームの強度を十分確保して耐久性を向上することができる。

【0016】

【発明の実施の形態】

図 1 に、本発明に係る乗用草刈機の全体側面が、又、図 2 にその全体平面が示されている。この乗用草刈機は、左右一対の前輪 2 および後輪 3 を備えた乗用走行機体 1 の前後輪間にモータ 4 が昇降自在に吊り下げ支持された、いわゆるミッドマウント型に構成されており、乗用走行機体 1 の最後部にはエンジン 5 が搭載されるとともに、機体上の前後中間部位には運転座席 6 が配備されている。ここで、左右一対の前輪 2 はキャスタ式の遊転輪で構成されるとともに、左右一対の後輪 3 は左右独立して無段変速および正逆転操作可能な駆動輪に構成されており、左右後輪 3 を等速で共に正転駆動あるいは逆転駆動することで前進あるいは後進での直進走行を行い、左右の後輪 3 に速度差を与えることで任意の方向に旋回することができるようになっている。

【0017】

図 3、4 に示すように、前記乗用走行機体 1 の機体フレーム 7 は、前輪 2 を支持するとともにモータ 4 を前後のリンク 8、9 を介して吊り下げ支持する前側フレーム部 7 A と、後輪駆動部 10 を連結する後側フレーム 7 B とで構成されている。そして、前側フレーム部 7 A は、チャンネル材を大きい左右間隔をもって対向配備してなる左右一対のフレーム杆 11 と、左右のフレーム杆 11 の前端部同士を連結するチャンネル材からなる前部横フレーム 12 と、左右のフレーム杆 11 の後端部同士を連結する後部横フレーム 13 とで構成されている。また、後側フレーム 7 B は、前部フレーム 7 A より狭い左右間隔をもって前記後部横フレーム 13 に連結された縦平板からなる左右一対のフレーム板 14 で構成されている。また、左右の前記フレーム板 14 の後端に後輪駆動部 10 が連結されるとともに、後輪駆動部 10 から後方に向けて延出されたエンジン搭載フレーム 15 に、空冷式に構成されたガソリン仕様の前記エンジン 5 が、その出力軸心を前後方向に向けて搭載されている。

【0018】

後部横フレーム 1 3 は、フレーム杆 1 1 より上方に突出した板金溶接構造の中空枠状に構成されており、その上端前部に運転座席 6 を支点 a 周りに回動自在に枢支連結する支点金具 1 6 が設けられるとともに、後部横フレーム 1 3 の内部にモータ吊り下げ用後部リンク 9 の上端に連結された支点軸 1 7 が横架されている。そして、この支点軸 1 7 に固着した駆動アーム 1 8 と、左右のフレーム板 1 4 をつなぐステー 1 9 とに亘って単動型の油圧シリンダ 2 0 が装着され、油圧シリンダ 2 0 が圧油供給によって伸長作動することで後部リンク 9 が振り上げ駆動されてモータ 4 が駆動上昇され、油圧シリンダ 2 0 が排油によって短縮作動することでモータ 4 が自重下降するようになっている。なお、駆動アーム 1 8 から延出された牽制アーム 2 1 が螺旋階段状の接当部を有するストッパ 2 2 に接当することでモータ 4 の下降が制限されるようになっており、ストッパ 2 2 をノブ 2 3 によって回転調節して牽制アーム 2 1 に対向する接当部の位置を段階的に変更することで下限にあるモータ 4 の地上高さを調節し、もって、刈高さを変更調節するように構成されている。

【0 0 1 9】

モータ 4 は、縦軸心周りに駆動回転される 3 枚のブレード（図示せず）がデッキ 2 5 の内部に左右に並列配備されるとともに、デッキ 2 5 の右端から刈草を放出するよう構成されており、デッキ 2 5 の上面中央にはギヤケース 2 6 が設けられ、このギヤケース 2 6 に後方から入力された回転動力が縦軸回転に変換されて、各ブレードに伝動ベルト 2 7 を介して伝達されるようになっている。

【0 0 2 0】

図 7～図 1 0 に示すように、後部横フレーム 1 3 の左右中央部位に、前方に向けて突出した膨出部 1 3 a が形成されるとともに、その内部に下方および後方に向けて開放された凹入部 2 8 が形成されており、モータ 4 が上昇された時、ギヤケース 2 6 および自在継ぎ手 4 7 が前記凹入部 2 8 に下方から入り込むことで、モータ 4 を大きく上昇させて大きい地上高を確保することができるようになっている。また、後部横フレーム 1 3 における膨出部 1 3 a の左右下部にはフレーム杆の下端面に連結された平板部 1 3 b が連設されている。

【0 0 2 1】

機体フレーム 7 における前側フレーム部 7 A には、運転座席 6 の足元に位置して板金製のステップ 3 0 が搭載装着されるとともに、運転座席 6 の左右には後輪フェンダ 3 1 が配備され、さらに運転座席の後方にはエンジンボンネット 3 2 が配備されている。そして、図 1 0 に示すように、前記ステップ 3 0 は、前側フレーム部 7 A に覆い被されるとともに、左右のフレーム杆 1 1 の間で沈み込んだ形状にプレス成形され、ステップ面を低くして運転者が重心低く着座搭乗できるよう構成されている。また、後部横フレーム 1 3 の前記平板部 1 3 b にステップ 3 0 の後端部が載置連結されるようになっている。

【 0 0 2 2 】

図 1 1, 1 2 に示すように、前記後輪駆動部 1 0 は、エンジン 5 からの出力を受ける中央伝動ケース 4 1 と、その左右に連結された一対の静油圧式無段変速装置 (H S T) 4 2 と、後輪 2 を軸支した左右一対の減速ケース 4 3 とから構成されており、中央伝動ケース 4 1 に後方から入力されたエンジン動力が左右に分岐されて各無段変速装置 4 2 の可変容量型ポンプ 4 2 P に伝達され、無段変速装置 4 2 のモータ 4 2 M からの変速出力が減速ケース 4 3 内でギヤ減速されて後輪 2 の車軸 4 4 に伝達されるようになっている。また、中央伝動ケース 4 1 の前面に P T O 軸 4 5 が突出されて、モータデッキ 2 5 の上面に備えたギヤケース 2 6 の後ろ向き入力軸 4 6 に、一対の自在継ぎ手 4 7 および伝動軸 4 8 を介して連動連結されている。

【 0 0 2 3 】

ここで、静油圧式無段変速装置 4 2 は周知のアキシャルプランジャ型が採用されており、ポンプ 4 2 P の斜板角度を変更して吐出油量および吐出方向を変更することで、モータ 4 2 M を無段階に正逆転駆動するよう構成されている。そして、図示されていない斜板角操作軸と運転座席 6 の左右に前後揺動操作可能に配備された変速レバー 5 0 とが連動連結されており、変速レバー 5 0 を前後中立位置に保持すると無段変速装置 4 2 が中立停止状態となり、変速レバー 5 0 を中立位置から前方に操作することで前進変速が、また、後方に操作することで後進変速が行えるようになっている。また、中央伝動ケース 4 1 の前面には、静油圧式無段変速装置 4 2 におけるチャージ回路への圧油供給油路中に位置するオイルフィ

ルタ 51 が装着されており、運転座席 6 を前方に回倒して後輪駆動部 10 の上方を開放すると、左右のフレーム板 14 の間にオイルフィルタ 51 が大きく露出され、上方から手を差し入れて簡単に脱着できるようになっている。

【0024】

左右の減速ケース 43 にはモータ軸 52 に作用する多板式のブレーキ 53 がそれぞれ装備されており、そのブレーキ操作軸 53a がステップ前部の中央近くに配備されたブレーキペダル 54 にロッド 55 を介して連動連結され、ブレーキペダル 54 の踏込みによって左右のブレーキ 53 が同時に制動操作されるようになっている。また、ブレーキペダル 54 の横側には、ブレーキペダル 54 を踏込み位置に保持する駐車用のブレーキロックペダル 56 が配備されている。

【0025】

静油圧式無段変速装置 42 の油圧回路を内装したポートブロック 57 は、減速ケース 43 の蓋ケースに兼用された強度の高い鋳造部材で構成されており、前記機体フレーム 7 の後側フレーム部 7B を構成するフレーム板 14 の後端が各ポートブロック 57 の外側面に連結されるとともに、前記エンジン搭載フレーム 15 の前端部が各ポートブロック 57 の内側の側面に連結されている。

【0026】

図 1、図 5 に示すように、運転座席 6 の後部には、上下中間部位で支点 b 周りに後方に折り畳み可能な門形の転倒保護フレーム 61 が立設配備されており、この転倒保護フレーム 61 における左右の支柱基端部 61a を支持する基端支持部 62 が、機体フレーム 7 における左右フレーム板 14 の後部外側面に設けられている。この基端支持部 62 は、図 15 に示すように、フレーム板 14 の外側面に溶接固着された角ボス部材 63 と、補強板を兼ねてフレーム板 14 の外側面に溶接固着した底板材 64 とで構成されており、左右基端支持部 62 の角ボス部材 63 同士が背面からステー 73 で互いに連結されている。そして、角パイプ材からなる支柱基端部 61a が前記基端支持部 62 に上方から差込まれて底板材 64 で受け止められた状態で、基端支持部 62 および支柱基端部 61a に後方から挿通したボルト 65 を基端支持部 62 の前面に固着したナット 66 に締め込むことで、支柱基端部 61a をボルト頭部で前方に押圧して基端支持部 62 の前方の内面

に押付け、もって、この転倒保護フレーム 61 をガタつきなく強固に立設固定することができるよう構成されている。この場合、ボルト操作が、転倒保護フレーム 61 の後方の広い空間から容易に行えることになる。

【0027】

また、フレーム板 14 の外側面には板材からなる補強部材 67 が板面を上下に向けて溶接されて、フレーム 14 自体の強度が高められるとともに、この補強部材 67 の前後端が前側フレーム部 7A における後部横フレーム 13 の後面と基端支持部 62 の底板材 64 に溶接連結されている。このように補強部材 67 を設けることで、幅広の前側フレーム部 7A と幅狭の後側フレーム部 7B との段差連結部位における補強がなされるとともに、転倒保護フレーム 61 を立設支持する基端支持部 62 の強度が高められている。

【0028】

図 16, 17 に示すように、機体右側の補強部材 67 にはバッテリー 68 が搭載されて、コーナー押え金具 69 および支持棒 70 を介して固定されるとともに、図 18, 19 に示すように、後部横フレーム 13 の上端付近と、機体左側の補強部材 67 と、左側のフレーム板 14 から延出されたステー 71 とに亘って燃料タンク 72 が取り付け支持されている。

【0029】

前記運転座席 6 の支持構造が図 20 および図 21 に示されている。前側フレーム部 7A を構成する後部横フレーム 13 の上端部に設けられた支点金具 16 には、座席支持棒 81 が支点 a 周りに回動可能に枢支連結されるとともに、この座席支持棒 81 に前後に位置調節可能に運転座席 6 が装着されている。他方、後側フレーム部 7B を構成する左右フレーム板 14 の上端部には、着座姿勢に回動された座席支持棒 81 を受け止める左右一对のクッションバ 82 が装着されている。また、後部横フレーム 13 における左右中間部位の上部と前記ステー 19 とが弓形の補強板 83 でつながれるとともに、この補強板 83 と左側のフレーム板 14 とに亘って架設したバネ受け部 84 に、空席となった運転座席 6 を座席支持棒 81 と共に持上げ回動させるに足る強さの持上げバネ 85 が備えられている。また、この座席支持棒 81 に下方から対向するように運転者存在を検知する着座検出ス

スイッチ 86 が、後部横フレーム 13 の上部に備えたフレーム板 13c に備えられている。

【0030】

着座検出スイッチ 86 は、前記フレーム板 13c に後向き片持ち状にボルト連結された板バネ製ステア 87 の遊端部に上向きに装着されており、ステア 87 から上方に付勢突出されたスイッチ操作部 86a が、ステア 87 の基部側に上下揺動可能に装着された操作レバー 88 の遊端によって操作されるようになっている。なお、操作レバー 88 は、その基部に形成された屈曲部 88a をステア 87 の基部近くに形成した前後一对の開口 89 に上方から巻き込み係止した状態で、ステア 87 をフレーム板 13c 上に取り付けることで、屈曲部 88a が上下方向に一定範囲でのみ回動可能、かつ、ステア 87 から抜け出し不能に支持されるようになっている。

【0031】

上記構成によると、空席状態では、図 21（イ）および図 22 に示すように、座席支持枠 81 が持上げバネ 85 によって浮き上げられることで、着座検出スイッチ 86 はオフとなり、このような空席状態が走行中に検出されるとエンジン 5 自動停止制御される。また、着座状態では、図 21（ロ）に示すように、操作レバー 88 によってスイッチ操作部 86a が押込み操作されることで着座検出スイッチ 86 がオンとなり、エンジン 5 の始動および連続運転が可能となる。なお、着座加重が大きいと座席支持枠 81 がクッションバネ 82 を圧縮して大きく下方に回動することになるが、この場合、スイッチ操作部 86a を大きく押込み操作した操作レバー 88 がステア 87 に接当した状態になり、着座加重によってステア 87 自体が下方に弾性変形して、着座検出スイッチ 86 に不当な加重が作用して損傷することが未然に回避される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

乗用草刈機全体の左側面図

【図 2】

乗用草刈機全体の平面図

【図 3】

機体フレーム全体の平面図

【図 4】

機体フレーム全体の側面図

【図 5】

転倒保護フレームの連結部を示す背面図

【図 6】

モータ装着部のモータ下降状態を示す側面図

【図 7】

モータ装着部のモータ上昇状態を示す側面図

【図 8】

モータ装着部のモータ上昇状態を示す正面図

【図 9】

機体フレームにおける前側フレーム部の平面図

【図 1 0】

図 9 における X - X 断面図

【図 1 1】

後輪駆動部を示す平面図

【図 1 2】

後輪駆動部の一部切欠き背面図

【図 1 3】

後輪駆動部の左側面図

【図 1 4】

後輪駆動部の右側面図

【図 1 5】

転倒保護フレームの左側基端支持部を示す一部切欠き側面図

【図 1 6】

バッテリーの取付け部を示す平面図

【図 1 7】

バッテリーの取付け部を示す側面図

【図 1 8】

燃料タンクの取付け部を示す側面図

【図 1 9】

燃料タンクの取付け部を示す平面図

【図 2 0】

運転座席の取付け部周辺を示す平面図

【図 2 1】

運転座席取付け部の空席状態（イ）および着座状態（ロ）を示す側面図

【図 2 2】

運転座席への着座検出手段を示す空席状態での側面図

【図 2 3】

着座検出手段の拡大した平面図

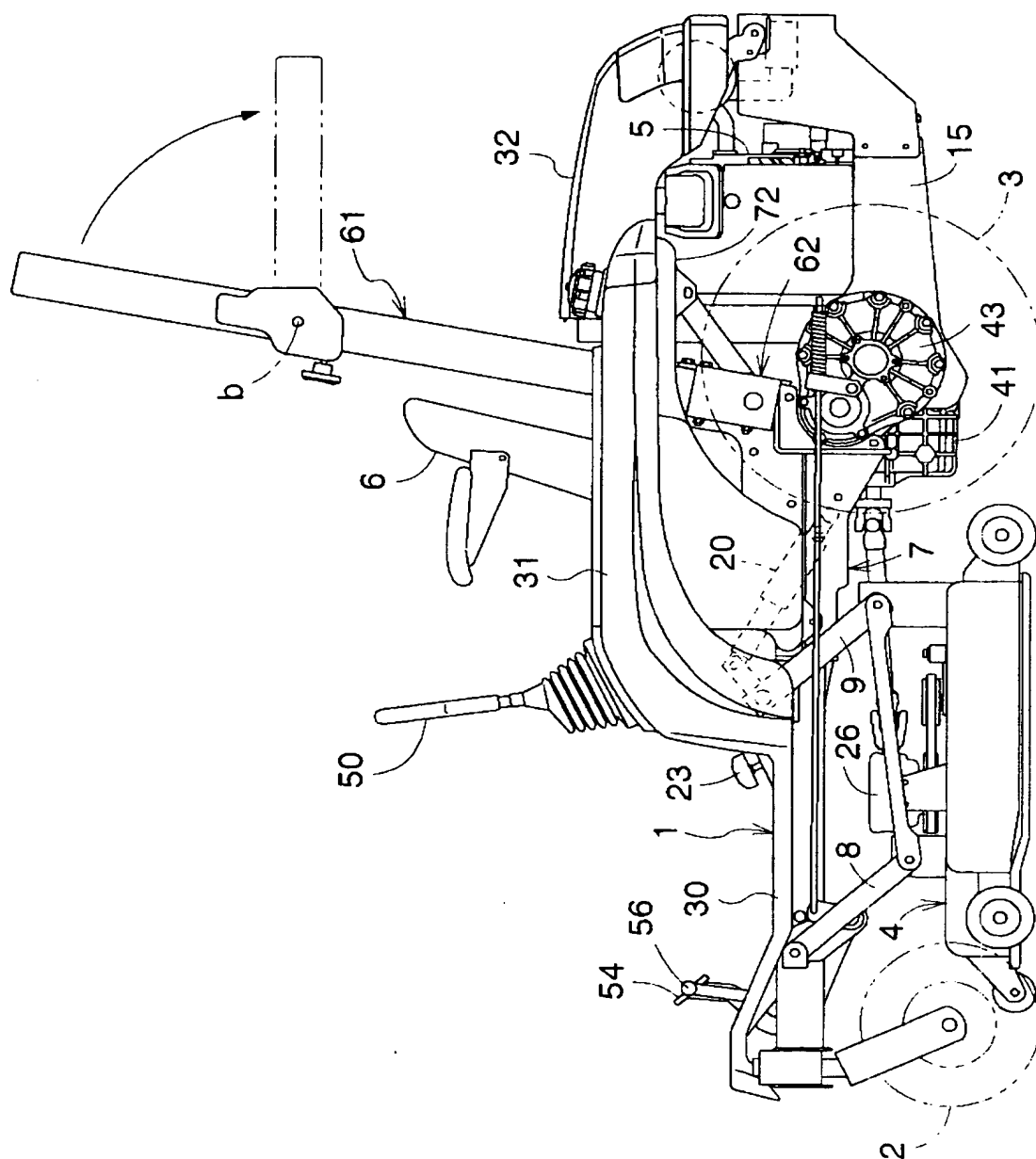
【符号の説明】

| | |
|-------|---------|
| 2 | 前輪 |
| 3 | 後輪 |
| 4 | モータ |
| 6 | 運転座席 |
| 7 | 機体フレーム |
| 7 A | 前側フレーム部 |
| 7 B | 後側フレーム部 |
| 8 | リンク |
| 9 | リンク |
| 1 0 | 後輪駆動部 |
| 1 1 | フレーム杆 |
| 1 2 | 前部横フレーム |
| 1 3 | 後部横フレーム |
| 2 3 a | 膨出部 |
| 1 3 b | 平板部 |

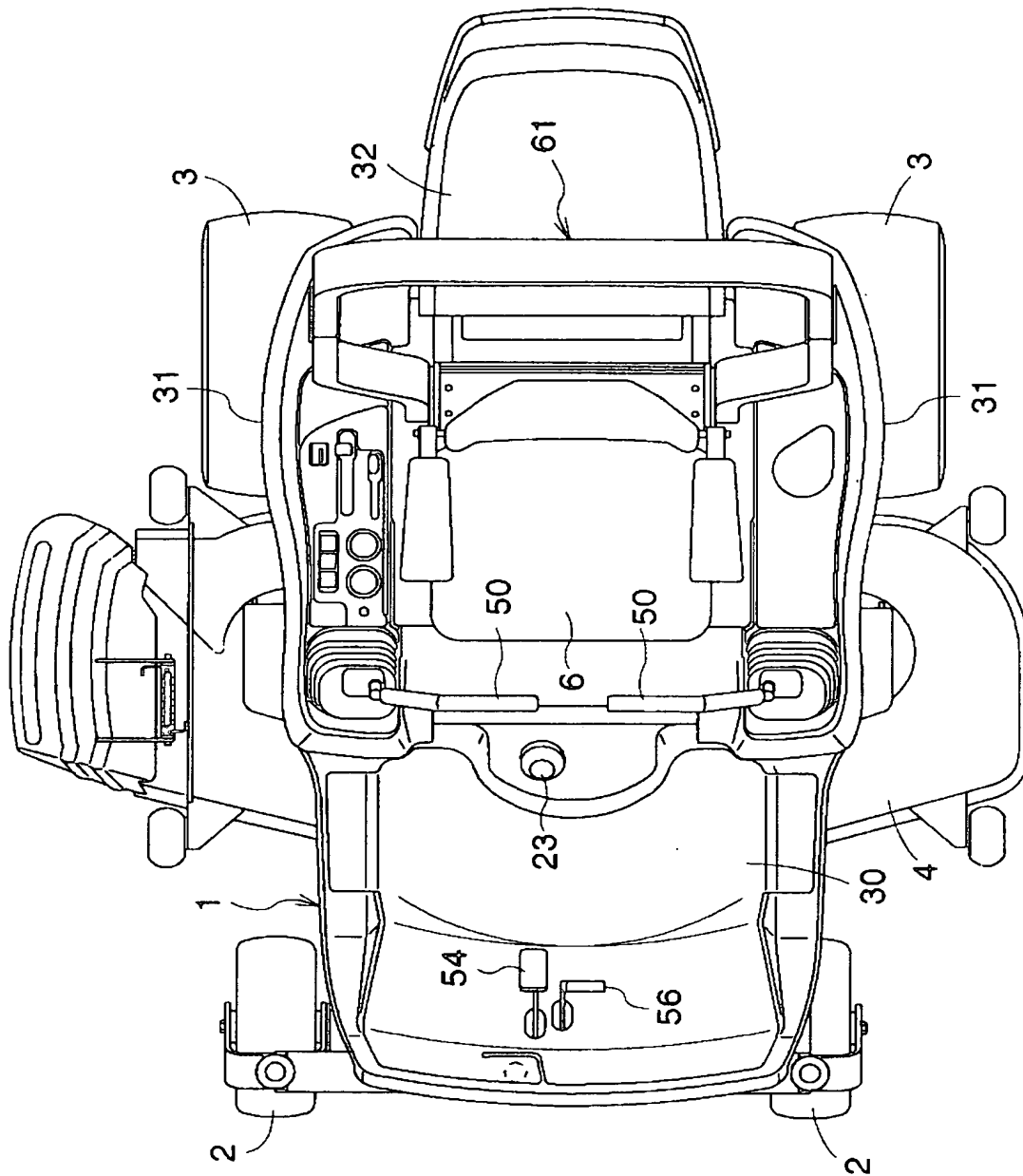
| | |
|-----|-------|
| 2 6 | ギヤケース |
| 2 8 | 凹入部 |
| 3 0 | ステップ |

【書類名】 図面

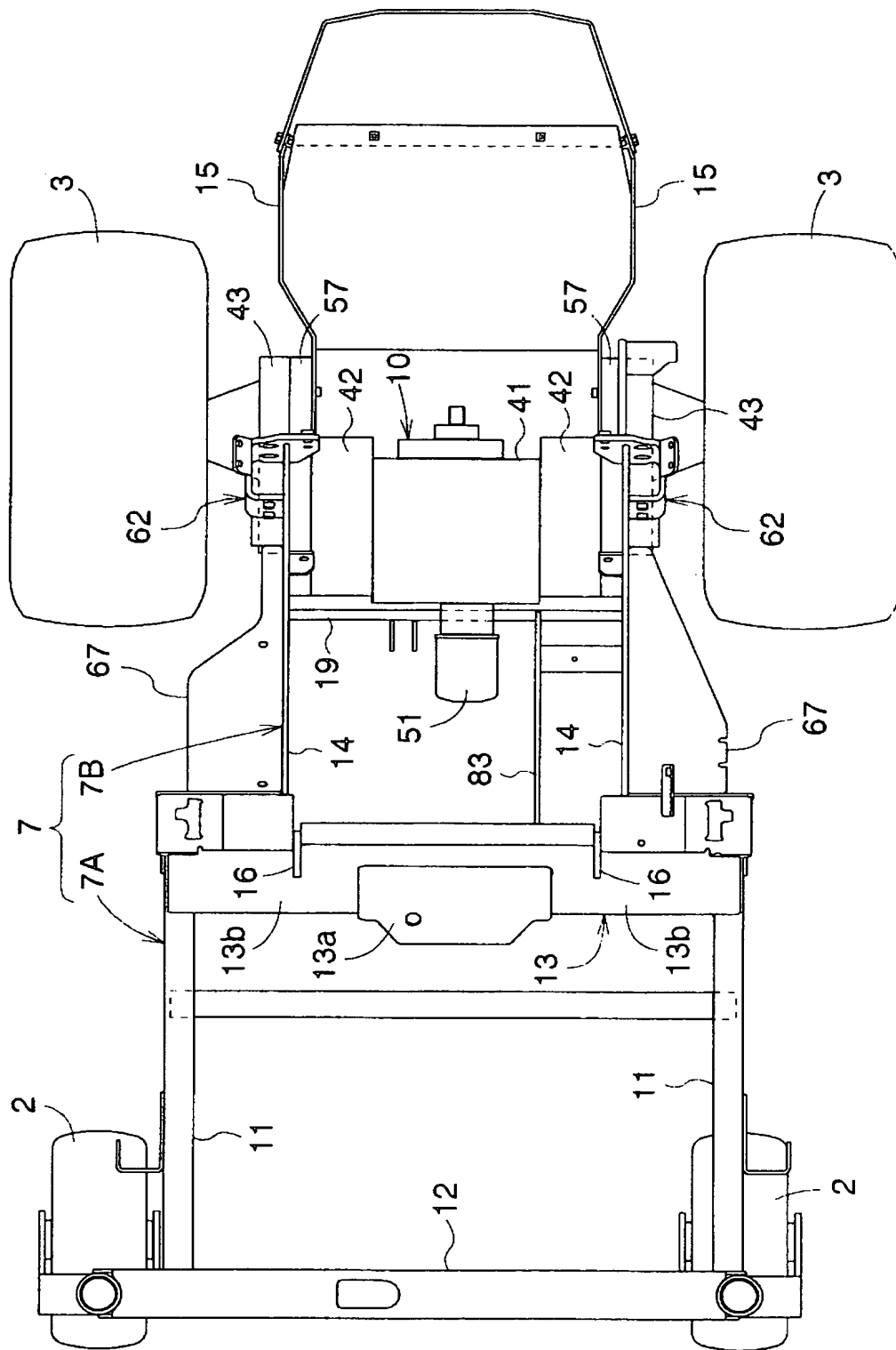
【図 1】



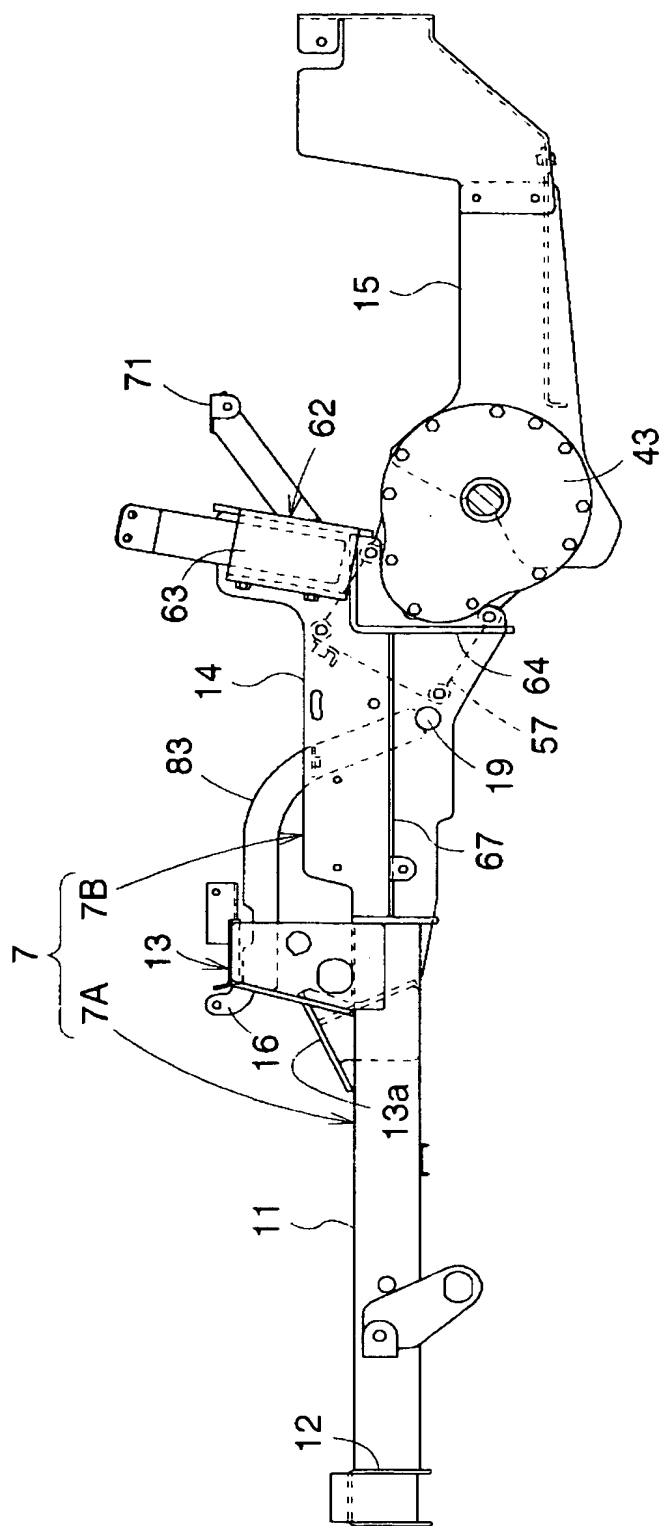
【図 2】



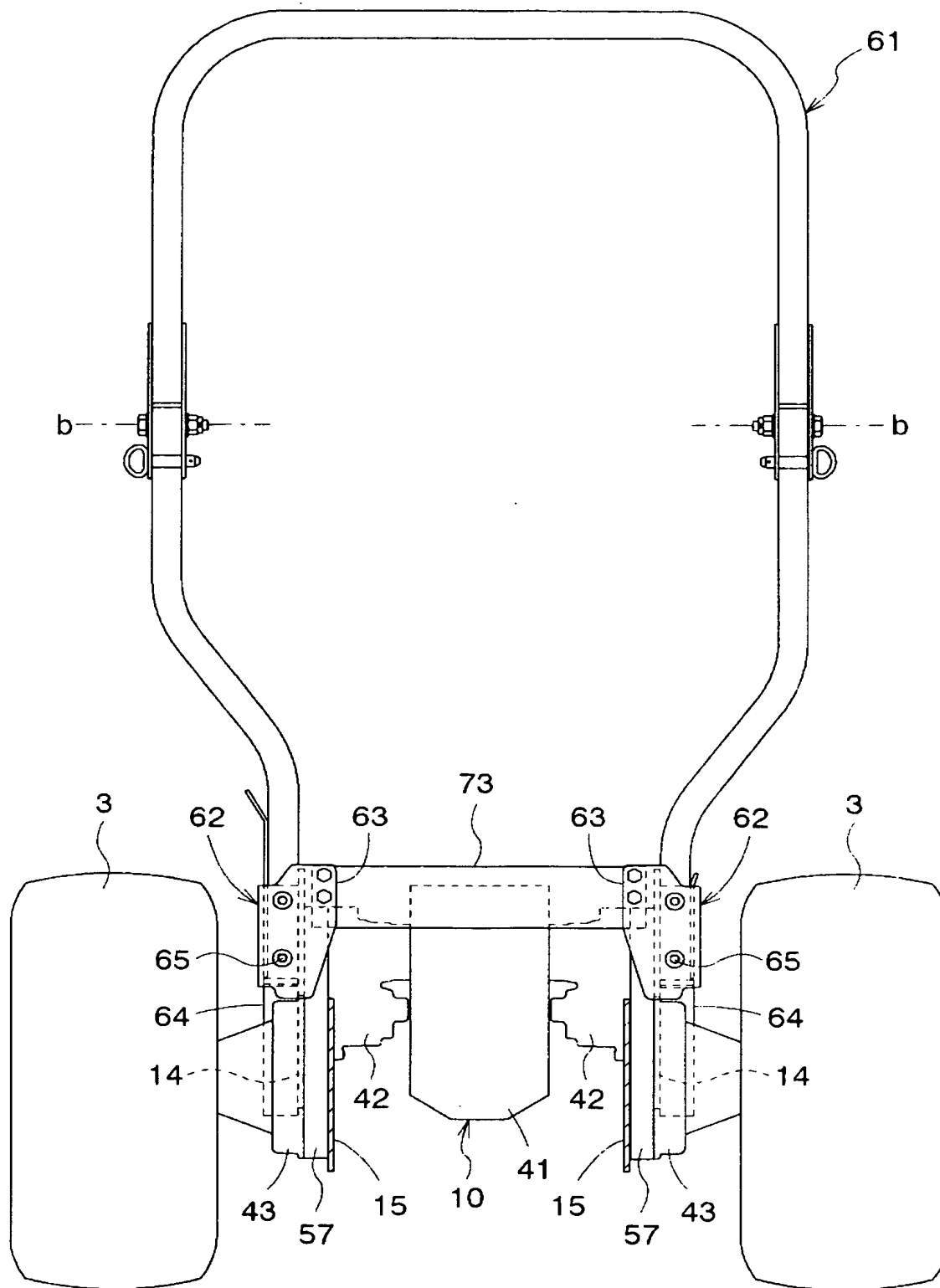
【図 3】



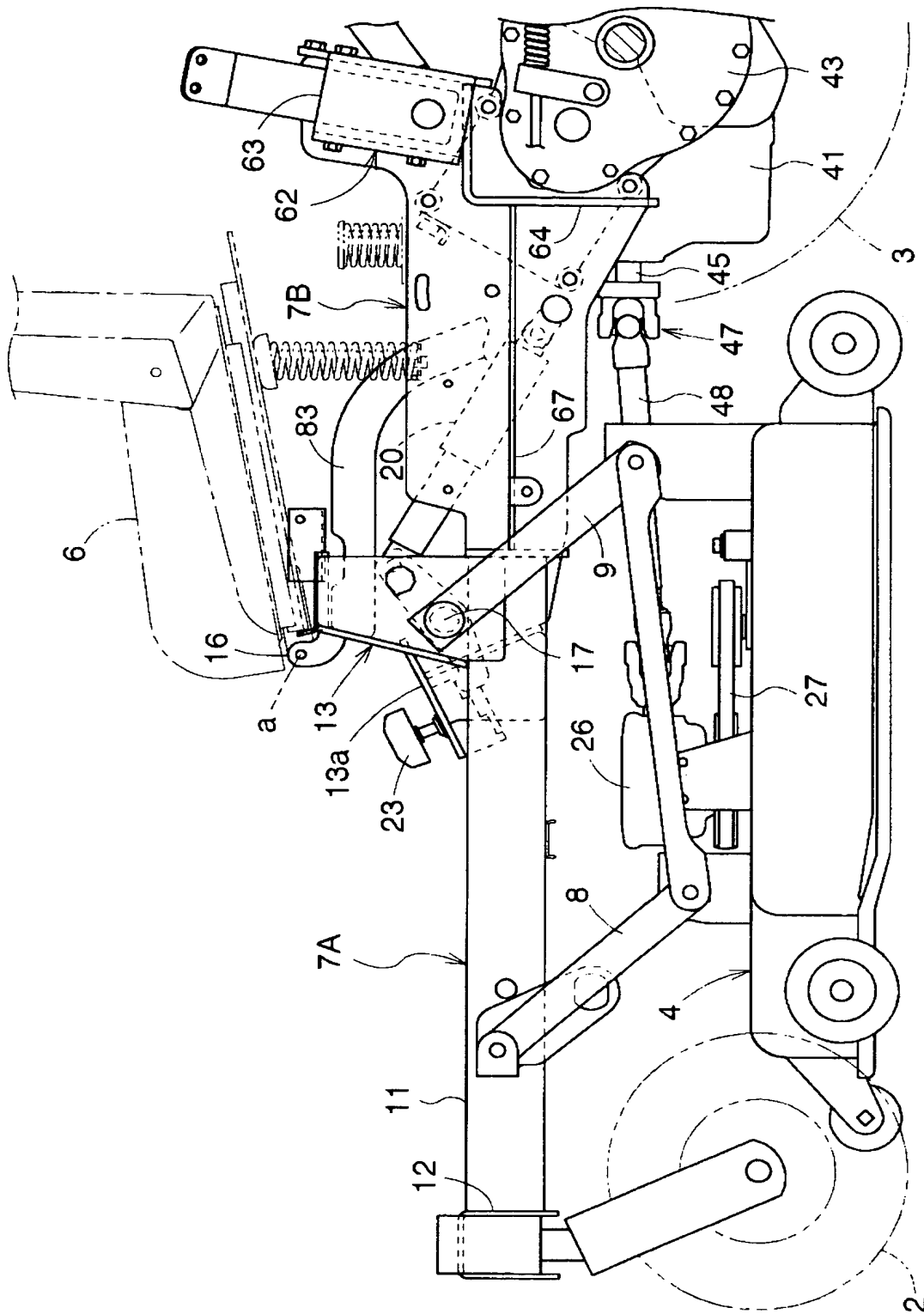
【図 4】



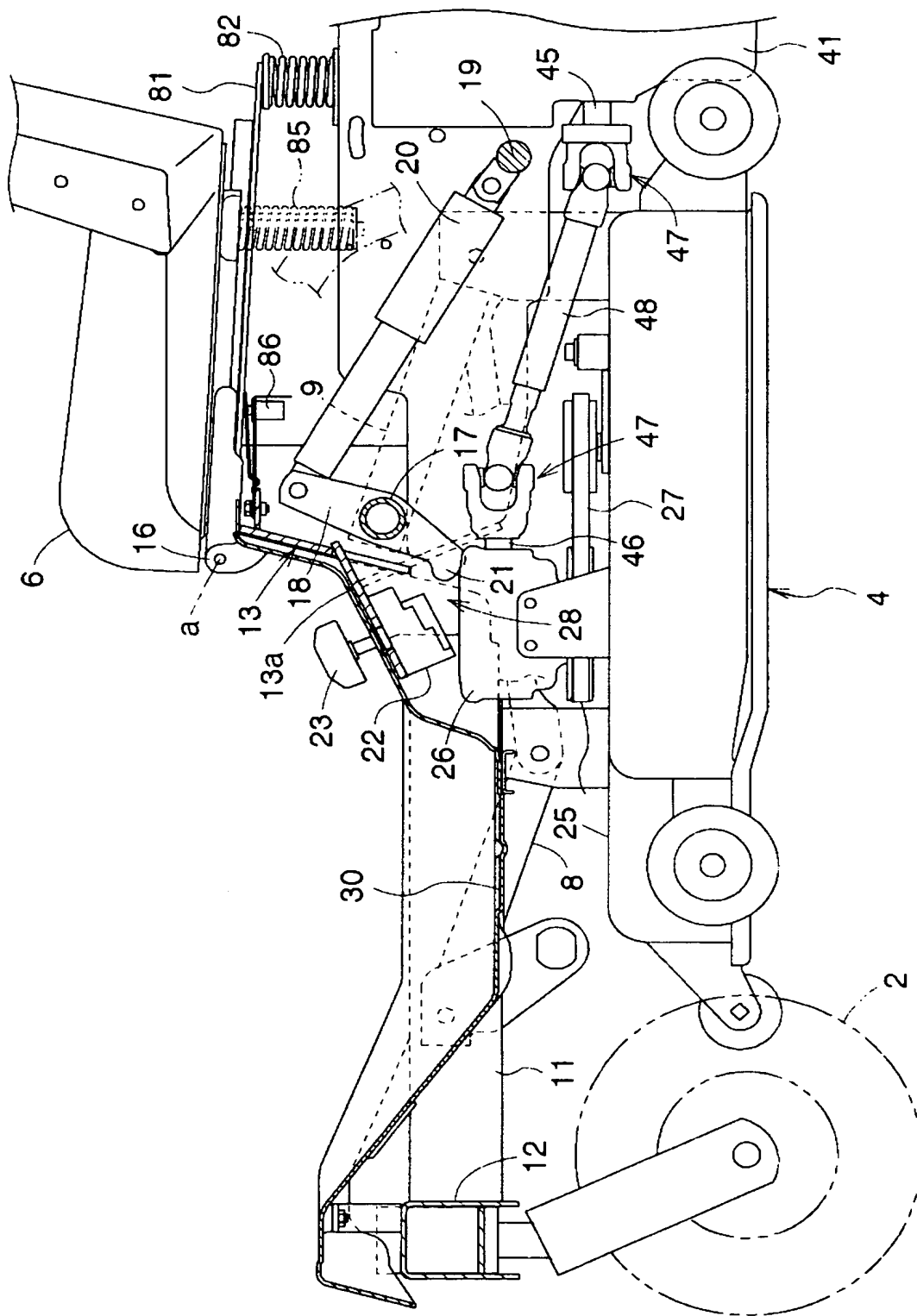
【図 5】



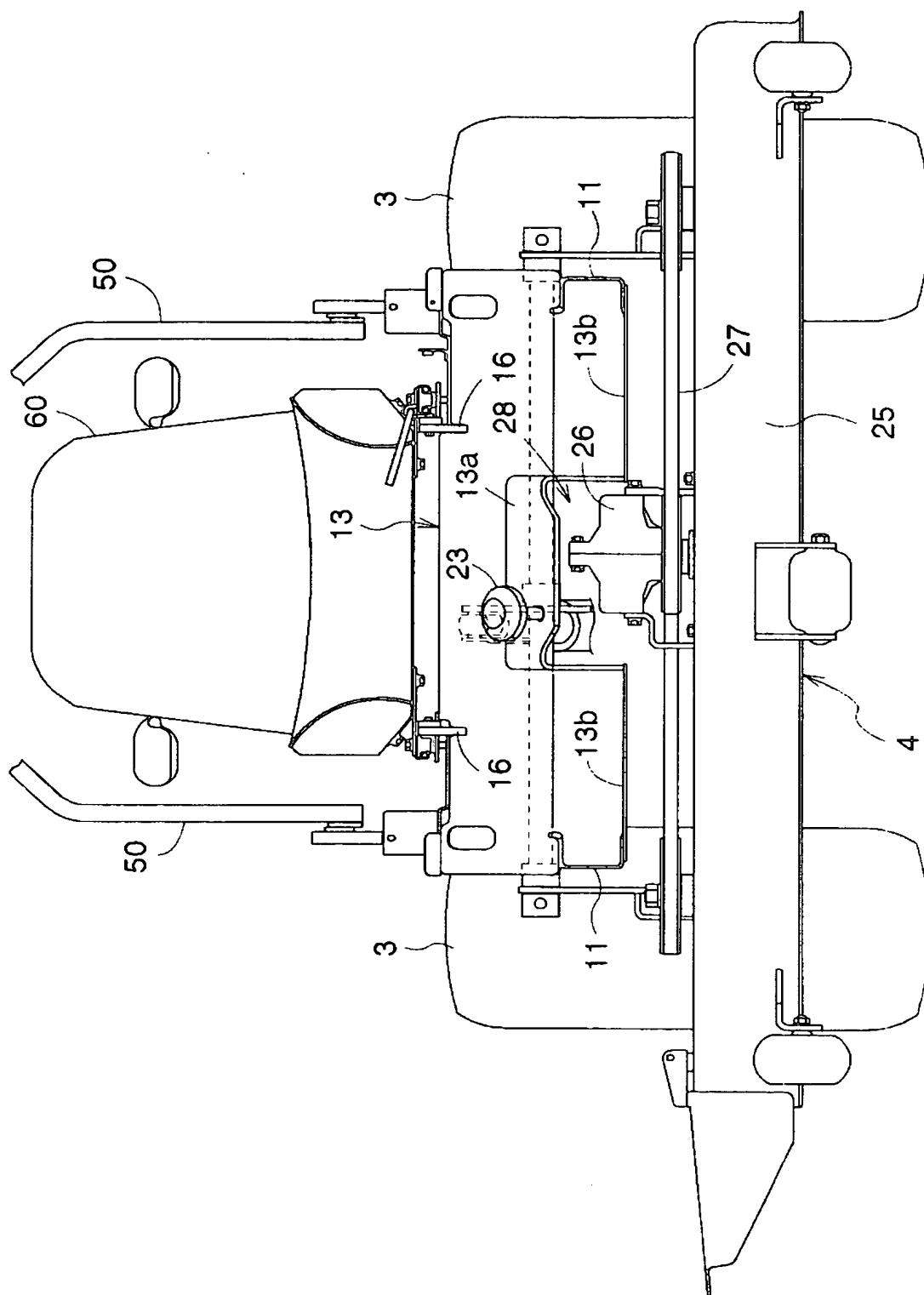
【図 6】



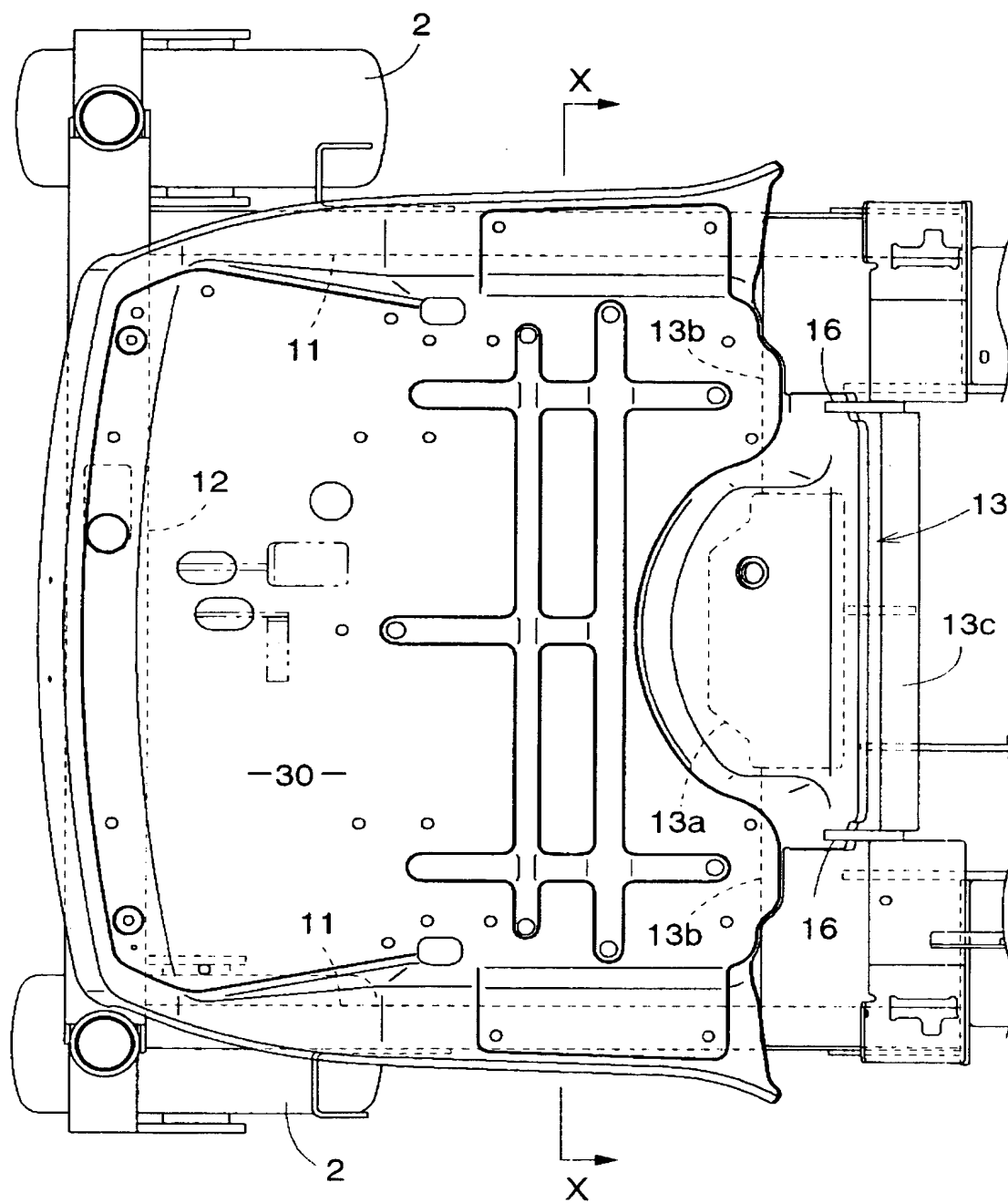
【図 7】



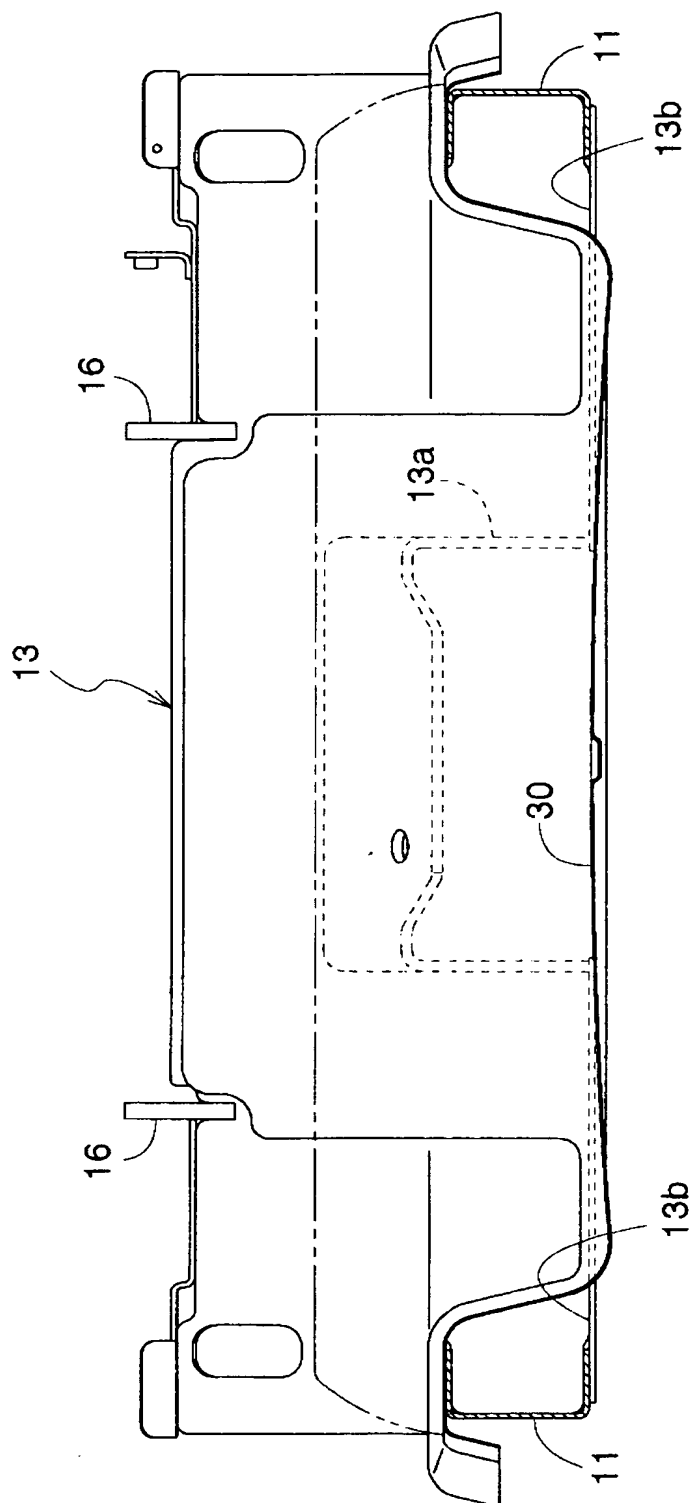
【図 8】



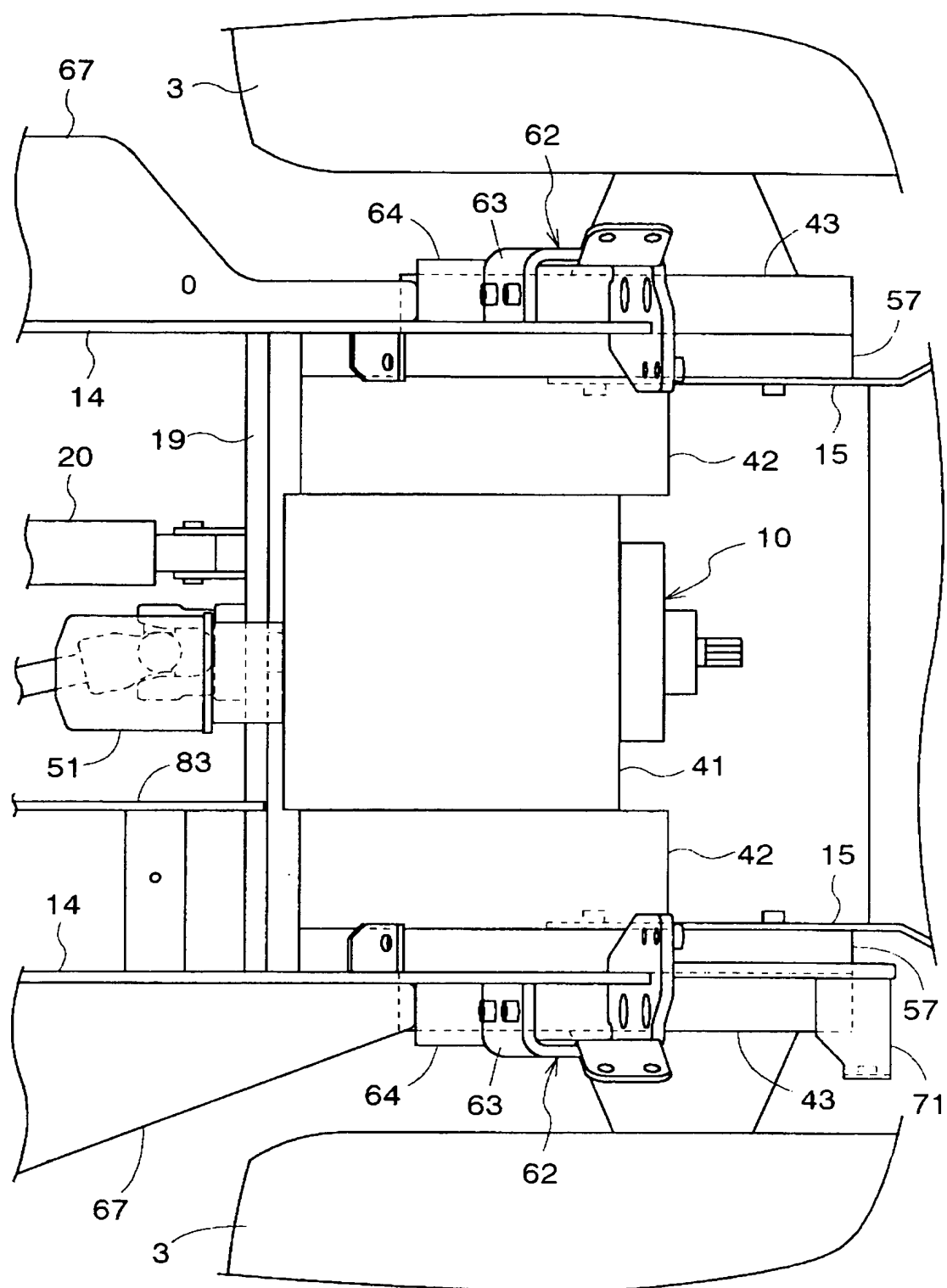
【図 9】



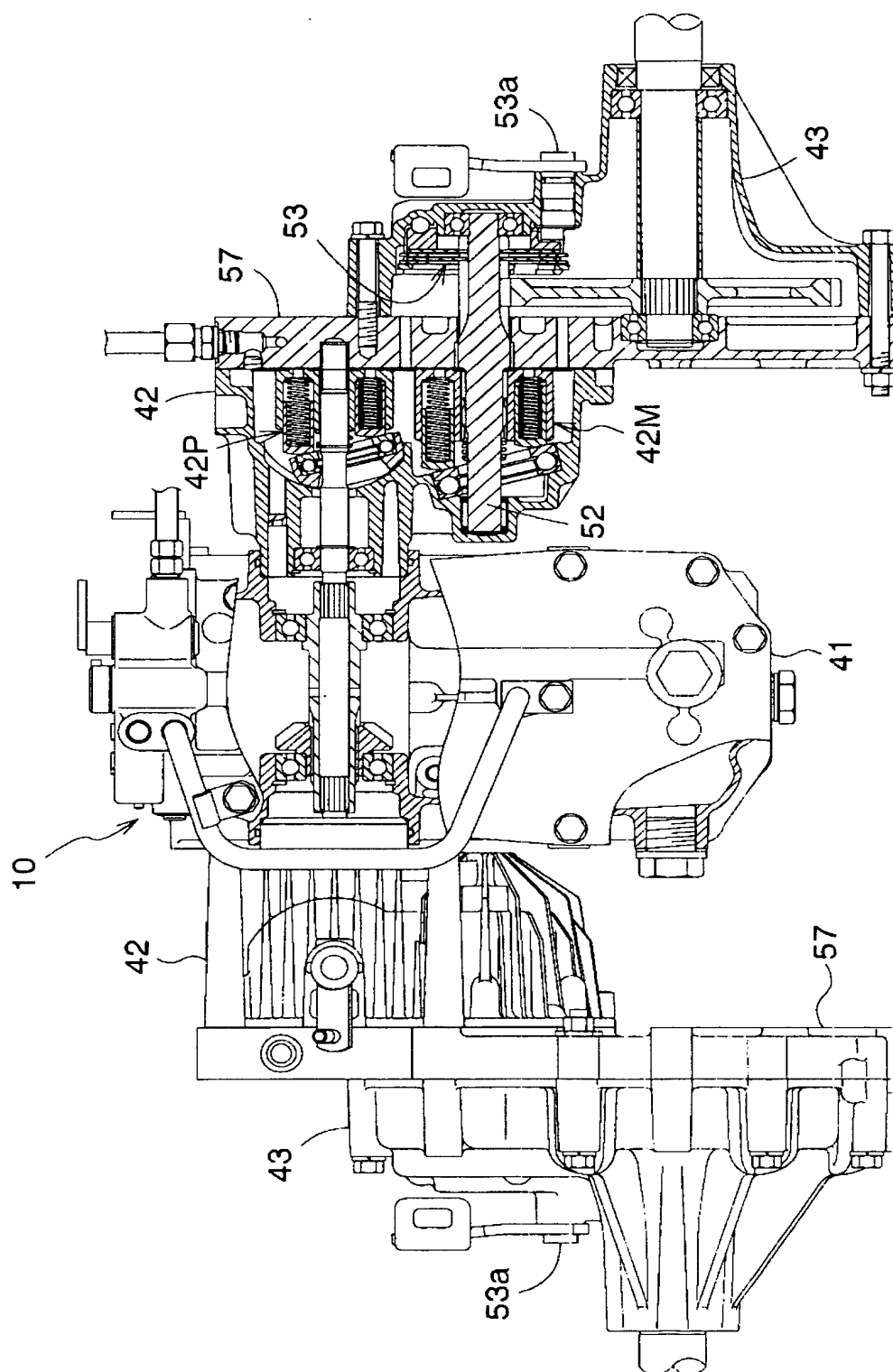
【図 10】



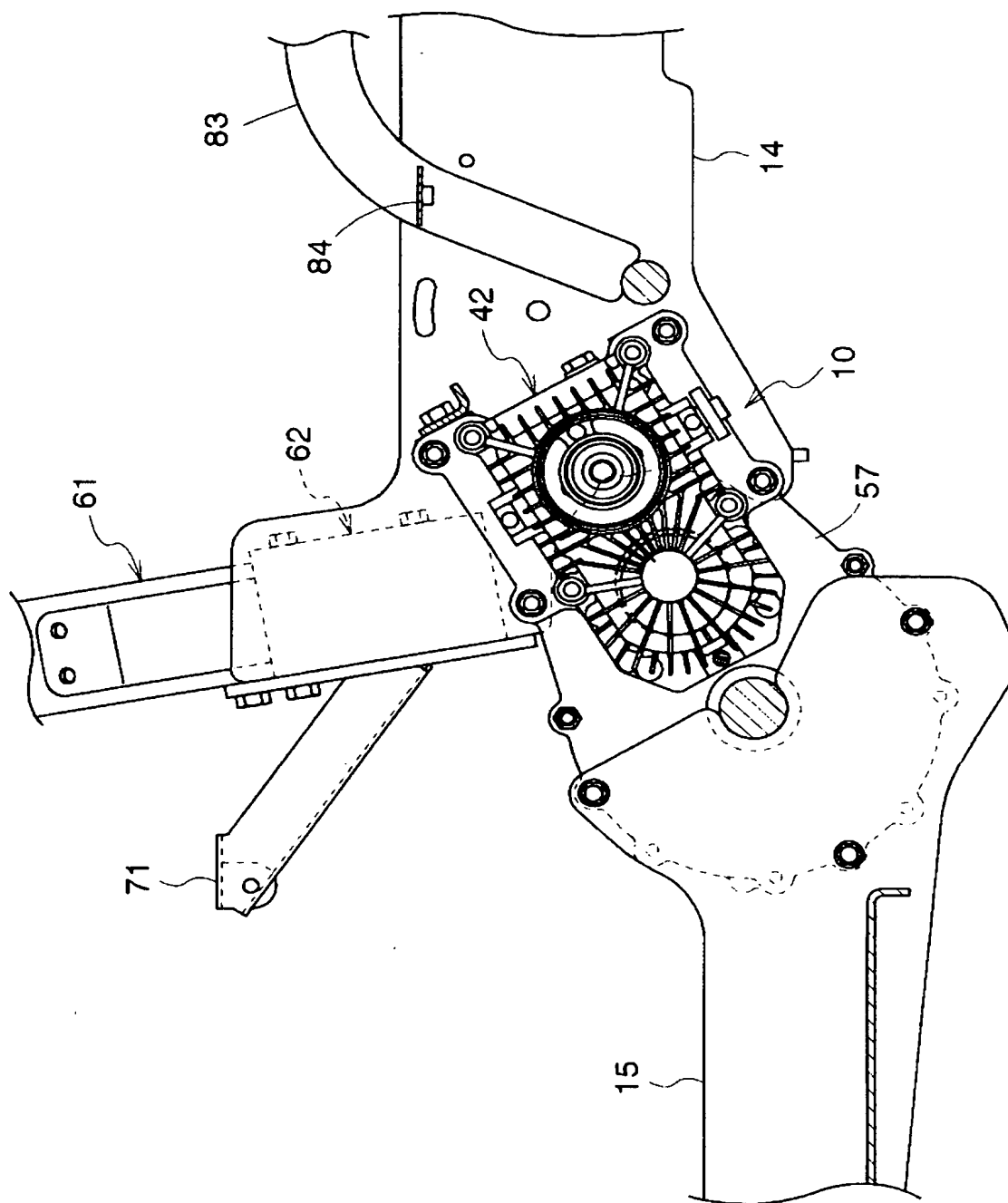
【図 11】



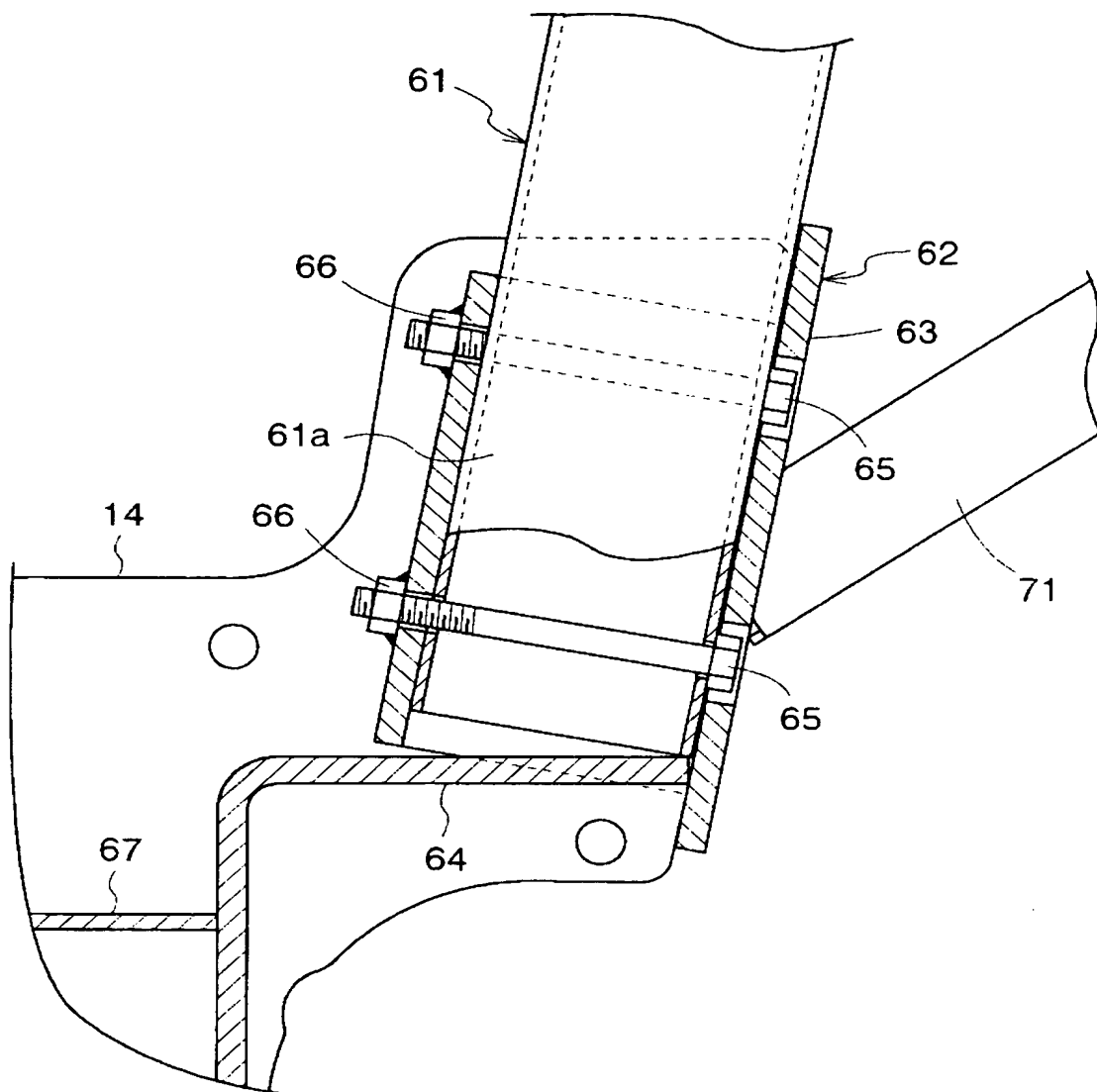
【図 12】



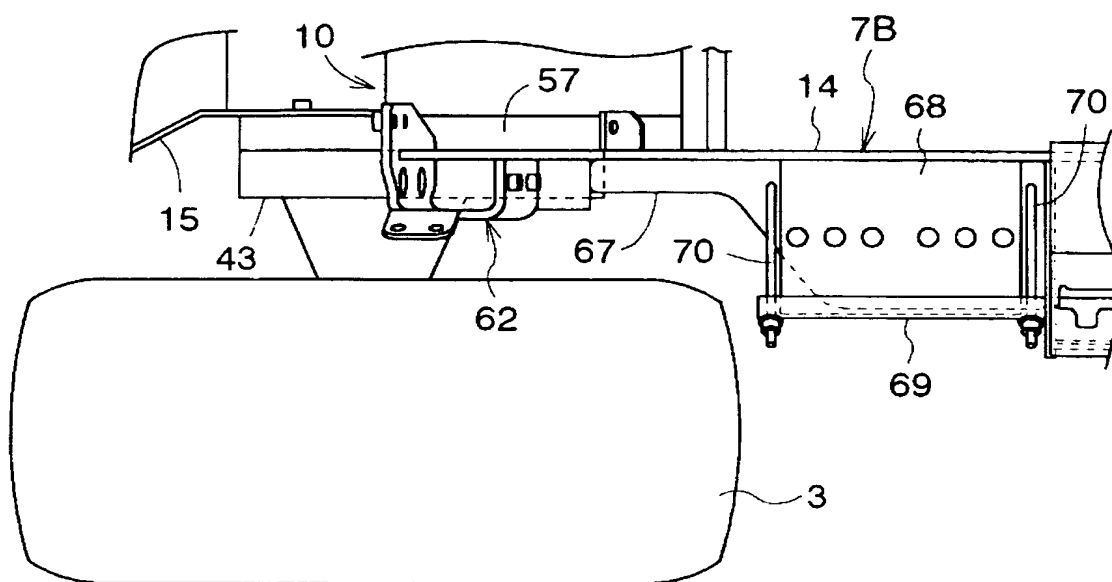
【図 14】



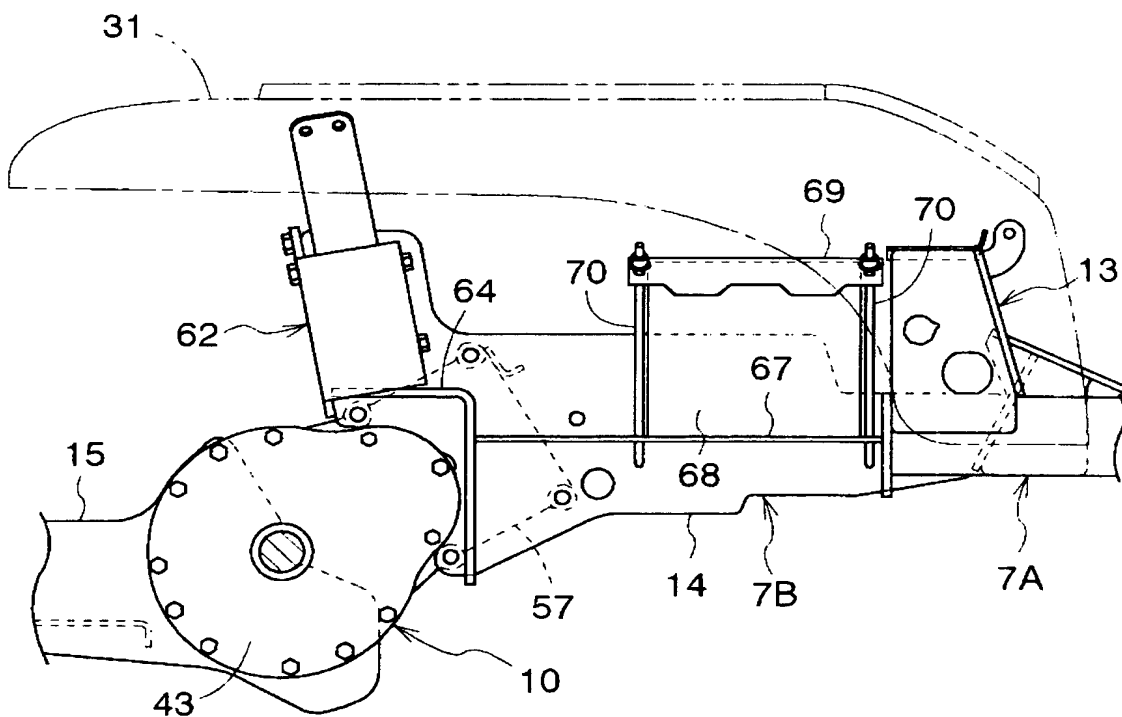
【図 15】



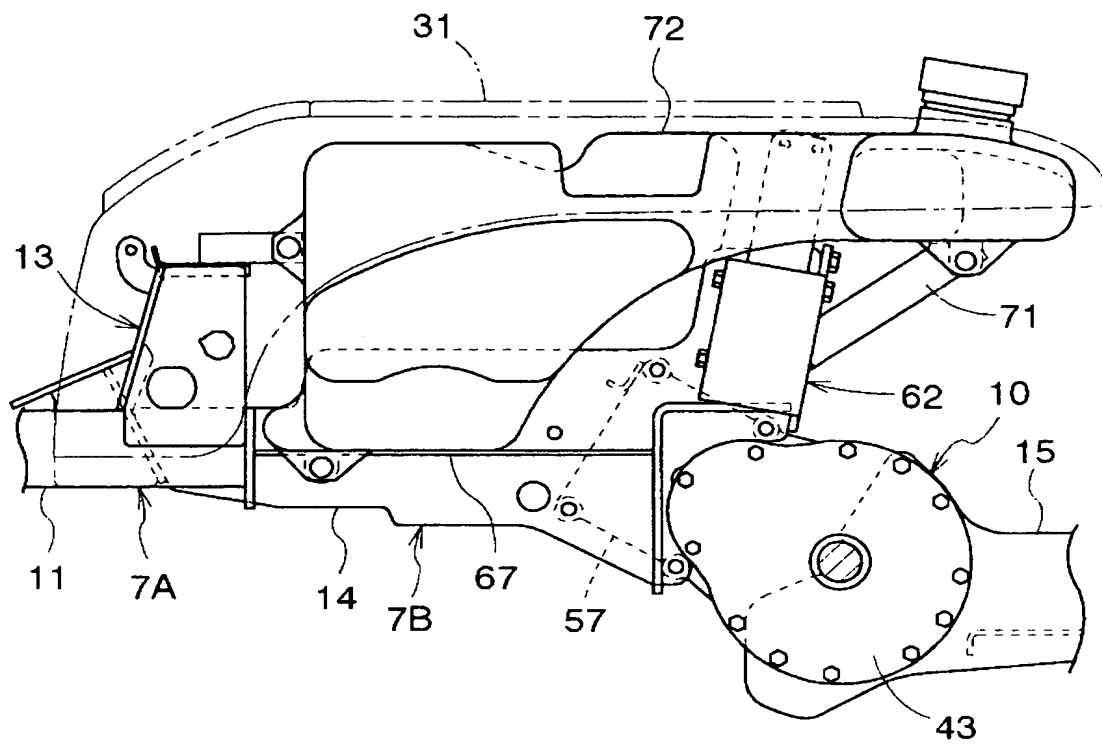
【図 16】



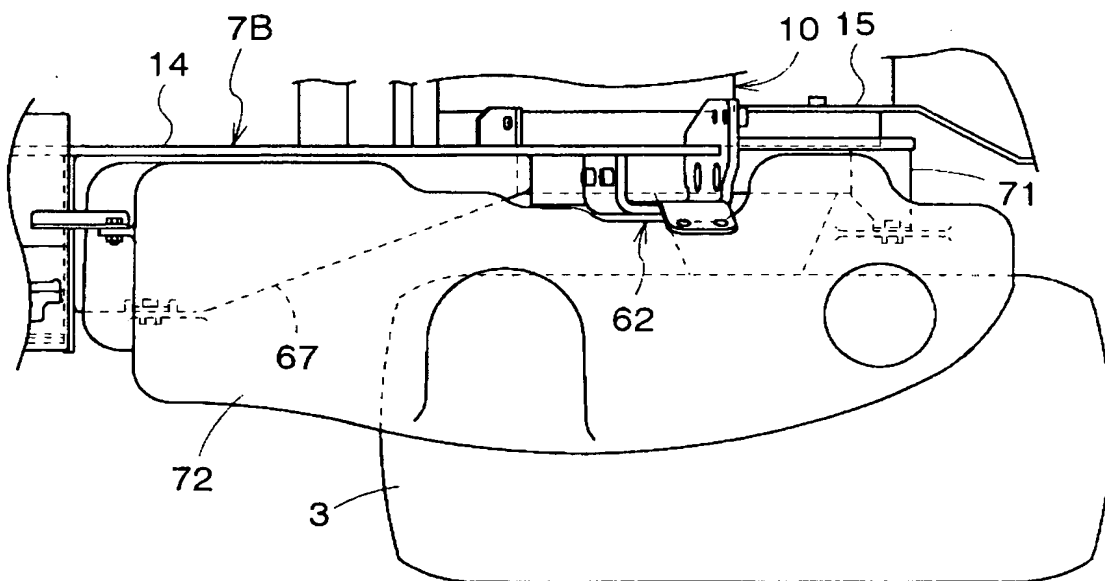
【図 17】



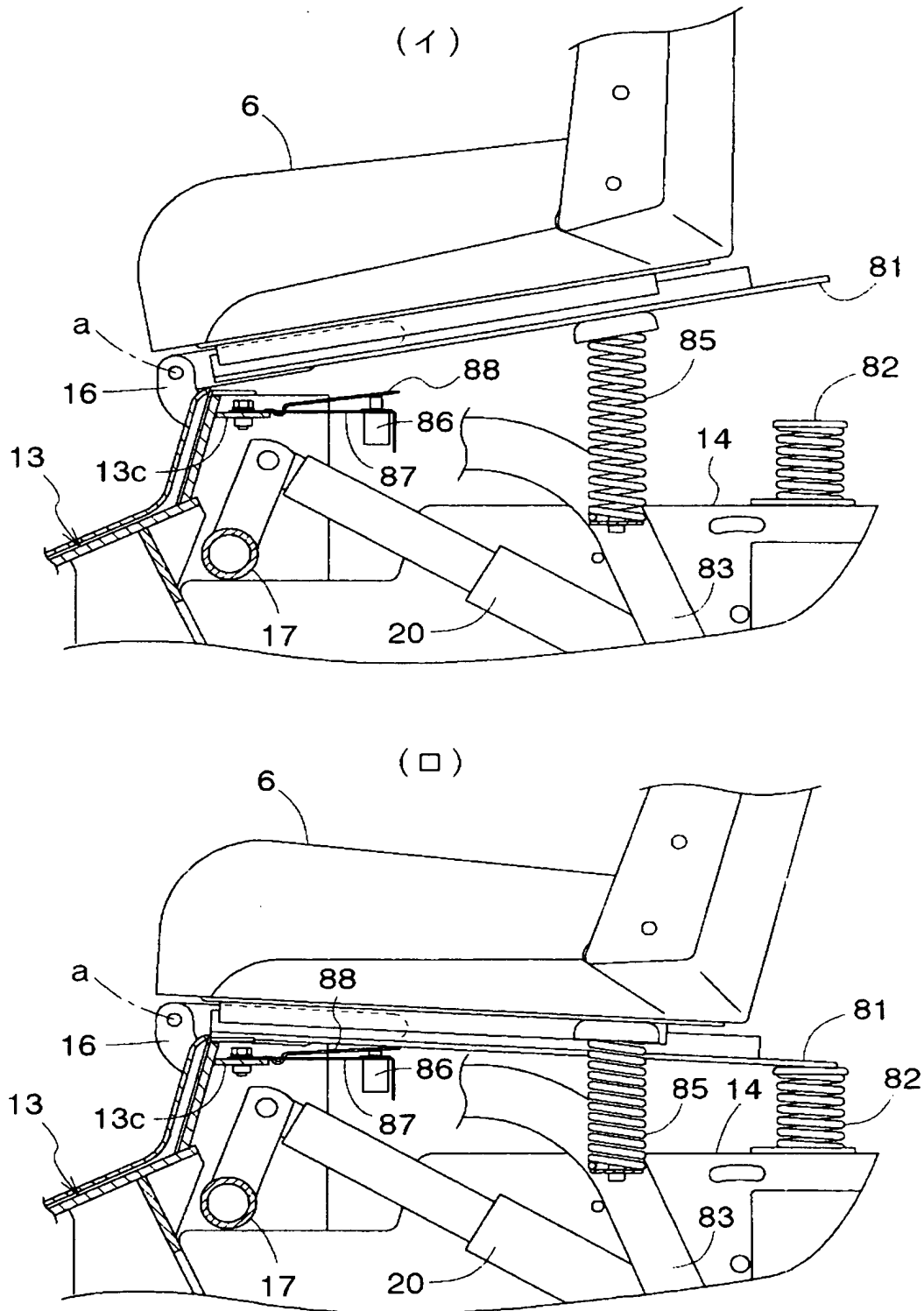
【図 18】



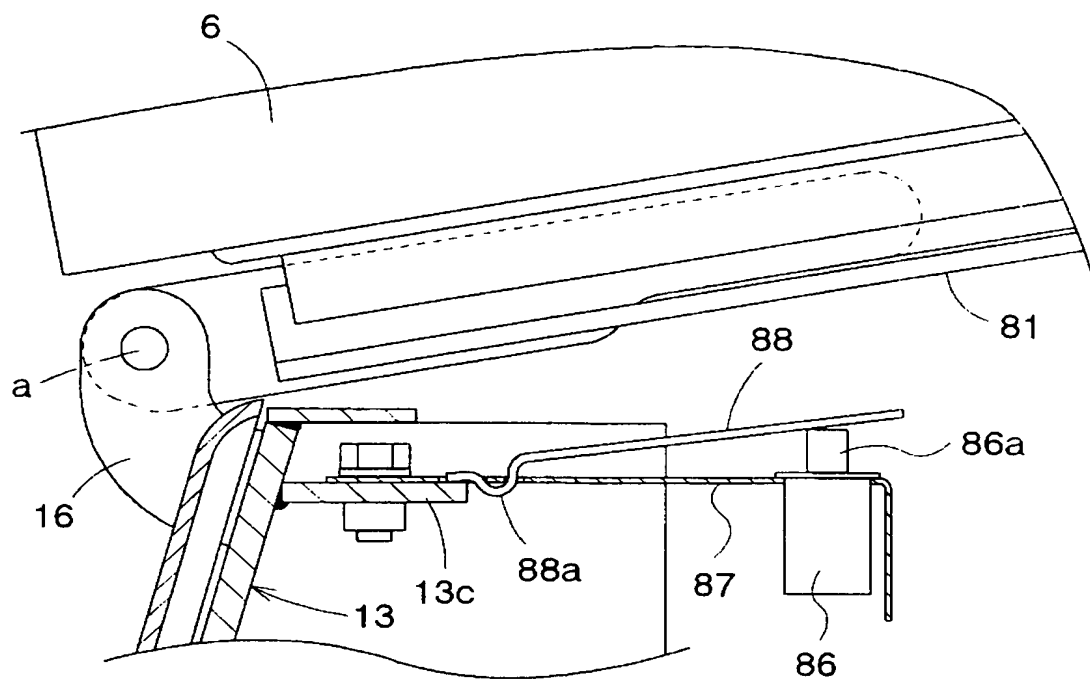
【図 19】



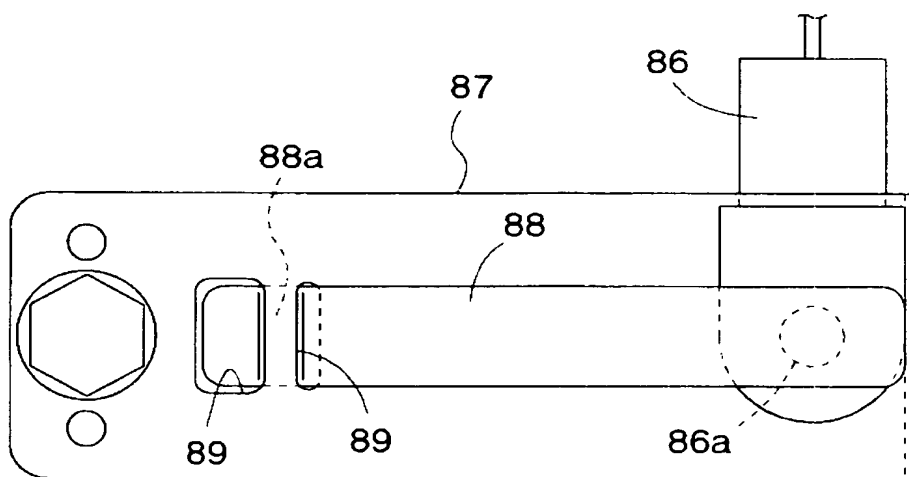
【図 21】



【図 2 2】



【図 2 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 キャスタ型の前輪 2 と独立変速可能な左右後輪 3 と間に位置させてモータ 4 を昇降自在に吊り下げ装備した乗用草刈機を、機体の重心を低くすることができるものでありながら、上昇させたモータの地上高を十分確保することのできる安定性および走行性に優れたものにする。

【解決手段】 機体フレーム 7 を、モータ 4 を吊り下げ支持する左右幅広の前側フレーム部 7 A と左右幅狭の後側フレーム部 7 B とで構成し、後側フレーム部 7 B の上方に配備した運転座席 6 の前端部が、前側フレーム部 7 A の後部横フレーム 1 3 の上方に位置するよう構成するとともに、後部横フレーム 1 3 の左右中央付近に下向きに開口した凹入部 2 8 を形成し、モータ 4 のデッキ上面に突設したギヤケース 2 6 が、モータ 4 の上昇に伴って凹入部 2 8 に下方から入りこむよう構成してある。

【選択図】 図 7

特願 2 0 0 3 - 0 3 2 2 7 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 1 0 5 2]

1. 変更年月日

2 0 0 1 年 1 0 月 1 1 日

[変更理由]

住所変更

住 所

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番 4 7 号

氏 名

株式会社クボタ